

特集●荒川流域を知る (8)

【秩父からの便り 荒川流域の祭り・行事】

水源の深い山峡に隠れて潜む霊性。それが日本のカミ（神）。隠れているから神を待ち望む。待ち望んだ神だから迎えるときは歓迎し、神も人もともに楽しむ。神は霊力を高め和まして霊的な恩恵を人々に与え、再び籠もりの座に立ち帰る。人々は安心し、気持を新たにしてお返しに日常に戻る。それが日本の祭り。日本の神は祭りあつての神。神あつての祭り。日本では古来、神を迎える祭りを地区共同体が行ってきた。

水を見に行く (7)

【ロンドンの水・2005年11月3日ミドルエセックス大学水害研究センターのコリン・グリーン教授を取材 4日テムズバリア見学】

ミドルエセックス大学は大ロンドン北の辺境の町・エンフィールドにある。その外側はロンドンのグリーンベルト地帯。町東端にはテムズ川支流のリー川が縦断し、その溪谷を堰き止めて貯水池が数珠繋ぎに連なる。自然豊かなハートフォードシャーに始まるリー川はこの町から下流で“失われた川”になる。川を変貌させた土地柄を見ておきたかった。また、テムズ川を横断して並ぶ中世騎士団の冑のような構造物のどこが河口堰なのか不思議だった。イギリス環境庁取材で得た見学のチャンス。ロンドン滞在をフル活用して見えました。

【田で習う】

田んぼの学校 見沼代用水のための市民コラボ CCM 通信 (2)

今年も利根川の養分をたっぷり含んだ水が見沼田んぼに届いた。農家は、用水路の泥を浚い、田を耕耘し、畦を作り、水入れの準備をする。水が来たら田を潤して代かき。乾いた草地在り水面に変わり、そして田植。数本の苗が多少ゆがみながらも等間隔に並ぶ。深水でアップアップしているものもある。ひよろひよろして風に吹かれ、カモが遊んで倒されるものもある。それを一つひとつ植え替えて、きれいな田んぼができあがる。日本人はこの風景を二千年も見続けてきた、と改めて思う。